

2026 年度 向上心開発委員会

委員長 岡上 博宣

1. 運営方針

私の趣味は J リーグ観戦です。J リーグでは、「J リーグ百年構想へスポーツで、もっと、幸せな国へ。」というスローガンを掲げ、地域に根ざしたスポーツクラブを核としたスポーツ文化の振興活動に取り組んでいます。その活動は、他競技の普及や芝生のグラウンドを増やすことから、健康教室や外国語講座の開催、近年では介護予防事業へと広がっています。自分が住む街に地域に根ざしたスポーツクラブがあることで、スポーツクラブを応援するだけでなく、子供からお年寄りまで世代を超えた交流が生まれ、地域と人との強い結びつきにより自分の街に愛着を持つきっかけとなっています。

私たち熊谷青年会議所は、2022 年から 2026 年にかけて熊谷に対する愛着を高めるとともに熊谷青年会議所の知名度を高めることを目指し、地域の共通課題である防災・減災をテーマとして、「熊谷ジモト化プロジェクト」を推進してまいりました。このプロジェクトを通じて、熊谷を生活圏とする人々にヒト・コト・モノとつながりを持っていただくことにより、熊谷を単なる出生地や居住地を超えて愛着を抱く故郷としての「ジモト」と感じてもらえるようになっていると考えます。しかしながら、運動と関わりを持った熊谷を生活圏とする人々の愛着が高まっている一方で、熊谷市民を対象としたアンケートにおいて熊谷に愛着を感じている市民がやや減少している現状があります。このような現状に鑑みると、私たちの運動が熊谷を生活圏とする人々全体までは浸透できていないと考えます。また、地域への愛着は個人を取り巻く環境の変化や時間の経過に伴って移り変わるものであり、愛着を高めるための運動を継続し続けなければなりません。

そこで、私たち向上心開発委員会では、「be ambitious」というテーマのもと運動を展開してまいります。2022 年から 2026 年にかけて行った運動を検証し、熊谷青年会議所の確かな財産として確立するとともに、「熊谷ジモト化プロジェクト」を通じて培ってきた協力団体との関係性やノウハウを次代に承継することにより、今後も継続して熊谷を生活圏とする人々が熊谷に対する愛着を持続続けるような持続可能なまちづくりを目指します。

熊谷を生活圏とする人々の熊谷への愛着が高まり続けた先には、熊谷を生活圏とする人々一人ひとりが熊谷をより良くしたいと思い行動したり、熊谷に存在する魅力を自然と見出したりするようになると考えます。そのような人々が生活する熊谷は、人々が互いに支え合いながら地域と自身の未来のために行動する魅力あふれるまちになると確信します。生活様式が多様化する現代において、地域への愛着を高めるという永遠の課題に高い向上心を持って取り組んでまいります。

2. 事業計画

- (1) 継続事業を通じて培ったこれまでの成果と課題を熊谷青年会議所メンバーに報告する例会の実施
- (2) 第 5 回「熊谷ジモト化プロジェクト」の実施
- (3) 2022 年から 2026 年の継続事業の運動の成果を熊谷を生活圏とする人々へ報告する例会の実施